

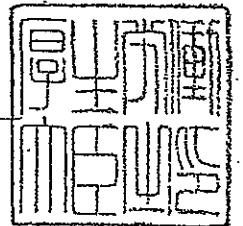
厚生労働省発食安第1204002号

平成20年12月4日

薬事・食品衛生審議会

会長 望月 正隆 殿

厚生労働大臣 舩添 要



諮 問 書

食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づき、下記の事項について、貴会の意見を求めます。

記

次に掲げる農薬の食品中の残留基準設定について

トリフロキシストロビン

平成21年10月23日

薬事・食品衛生審議会
食品衛生分科会長 岸 玲子 殿

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
農薬・動物用医薬品部会長 大野 泰雄

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
農薬・動物用医薬品部会報告について

平成20年12月4日厚生労働省発食安第1204002号をもって諮問された、食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づくトリフロキシストロビンに係る食品規格（食品中の農薬の残留基準）の設定について、当部会で審議を行った結果を別添のとおり取りまとめたので、これを報告する。

トリフロキシストロビン

一般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたこと及び関連企業から「国外で使用される農薬等に係る残留基準の設定及び改正に関する指針について」（平成16年2月5日付け食安発第0205001号）に基づく残留基準の設定要請がなされたことに伴い、食品中のポジティブリスト制度導入時に新たに設定された基準値（いわゆる暫定基準）の見直しを含め、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告をとりまとめるものである。

1. 品目名：トリフロキシストロビン [Trifloxystrobin (ISO)]

2. 用途：殺菌剤

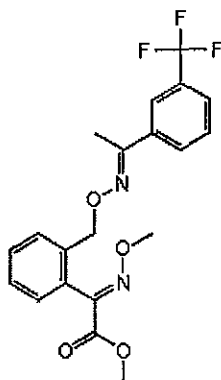
ストロビルリン系殺菌剤である。病原菌の孢子発芽阻止、孢子発芽以降の宿主への侵入阻止や吸器の形成阻止、子座の形成阻止効果が確認されている。

3. 化学名

Methyl (*E*)-methoxyimino-{(*E*)- α -[1-(α, α, α -trifluoro-*m*-tolyl)ethylideneaminooxy]-*o*-tolyl}acetate (IUPAC)

Methyl (αE)- α -(methoxyimino)-2-[[[[(1*E*)-1-[3-(trifluoromethyl)phenyl]ethylidene]amino]oxy]methyl]benzeneacetate (CAS)

4. 構造式及び物性



分子式	$C_{20}H_{19}F_3N_2O_4$
分子量	408.38
水溶解度	0.610 mg/L (25°C、pH7.6)
分配係数	$\log_{10}Pow=4.5$ (25°C、pH7.5)

(メーカー提出資料より)

5. 適用病害虫の範囲及び使用方法

本薬の適用病害虫の範囲及び使用方法は以下のとおり。

【作物名】となっているものについては、今回農薬取締法（昭和23年法律第82号）に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

また、申請者から、「国外で使用される農薬等に係る残留基準の設定及び改正に関する指針について」（平成16年2月5日付け食安発第0205001号）に基づき、ライ麦、はくさい、にんにく、その他のなす科野菜、未成熟いんげん、ぶどう、かき、キウイ、グアバ、パッションフルーツ、綿実及びコーヒー豆に係る残留基準の設定が要請されている。

(1) 国内での使用方法

25%トリフロキシストロビン水和剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍率	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	トリフロキシストロビンを含む農薬の総使用回数
てんさい	根腐病	1500倍	100～300	収穫21日前まで	3回以内	散布	3回以内
	葉腐病	1500～2000倍	L/10a				
	褐斑病	400～500倍	25L/10a				
ぶどう	晩腐病	1000倍	200～700 L/10a	休眠期	1回		1回
きゅうり	うどんこ病	2500倍	100～400 L/10a	収穫前日まで	3回以内		3回以内
りんご	斑点落葉病 褐斑病	1500～3000倍	200～700 L/10a				
	黒星病 輪紋病 黒点病 すす点病 すす斑病 炭疽病	2000～3000倍		4回以内	4回以内		
茶	炭疽病 輪斑病 新梢枯死病 もち病	2000～3000倍	200～400 L/10a	摘採14日前まで	2回以内		2回以内
	褐色円星病	2000倍					
おうとう	灰星病 炭疽病	2000倍	200～700 L/10a	収穫14日前まで	3回以内		3回以内
もも	灰星病			収穫前日まで			
なし	輪紋病	2000倍	200～700 L/10a	収穫前日まで	4回以内	4回以内	

(2) 海外での使用方法

① E U

(a) 187.5g/L トリフロキシストロビン乳剤

作物名	1回あたりの使用量		本剤の使用回数	栽培期間中の総使用量 (有効成分量)	使用時期	使用方法
	製剤量	希釈水量				
ライ麦	1 L/ha	100-400 L/ha	2回以内	0.375 kg ai/ha	42日前まで (フランス等)	散布
	0.5-1 L/ha	150-400 L/ha			35日前まで (ドイツ等)	

(オーストリア、フィンランド、ドイツ、フランス等で登録)

(b) 125g/L トリフロキシストロビン乳剤

作物名	1回あたりの使用量		本剤の使用回数	栽培期間中の総使用量 (有効成分量)	使用時期	使用方法
	製剤量	希釈水量				
ライ麦	0.5-1 L/ha	200-400 L/ha	2回以内	0.25 kg ai/ha	42日前まで	散布

(フランス、ノルウェー、スウェーデン等で登録)

(c) 500g/L トリフロキシストロビンフロアブル

作物名	1回あたりの使用量		本剤の使用回数	栽培期間中の総使用量 (有効成分量)	使用時期	使用方法
	製剤量	希釈水量				
ライ麦	0.5-1 L/ha	100-150 L/ha	2回以内	0.5 kg ai/ha	42日前まで (フランス)	散布
		200-400 L/ha			35日前まで (ドイツ)	

(ドイツ、フランス等で登録)

(d) 50%トリフロキシストロビン顆粒水和剤

作物名	1回あたりの使用量		本剤の使用回数	栽培期間中の総使用量 (有効成分量)	使用時期	使用方法
	製剤量	希釈水量				
さやいんげん (ドイツで登録)	0.25-0.5 kg/ha	600-1200 L/ha	1回	0.25 kg ai/ha	3日前まで	散布
ぶどう (フランス等で登録)	0.125 kg/hL	100-1000 L/ha	3回以内	1.875 kg ai/ha	35日前まで (スペインでは30日前)	散布

(e) 25%トリフロキシストロビン顆粒水和剤

作物名	1回あたりの使用量		本剤の使用回数	栽培期間中の総使用量 (有効成分量)	使用時期	使用方法
	製剤量	希釈水量				
ぶどう	0.5 kg/ha	600-1000 L	4回以内	0.5 kg ai/ha	21日前まで (ハンガリー)	散布
	0.16 kg/ha	200-1000 L	3回以内	0.12 kg ai/ha	14日前まで (ブルガリア)	
	0.5 kg/ha	1000 L/ha	4回以内	0.75 kg ai/ha	35日前まで (スロバキア等)	

②韓国

(a) 22%トリフロキシストロビンフロアブル

作物名	1回あたりの使用量		本剤の使用回数	栽培期間中の総使用量 (有効成分量)	使用時期	使用方法
	希釈倍数	散布液量				
はくさい	2500倍	150 mL/株	1回	-	移植前	土壌灌注
かき	2000倍	4000 L/ha	4回以内	1.76 kg ai/ha	21日前まで	散布
とうがらし	2000倍	1500 L/ha	3回以内	0.495 kg ai/ha	3日前まで	散布

(b) 50%トリフロキシストロビン顆粒水和剤

作物名	1回あたりの使用量		本剤の使用回数	栽培期間中の総使用量 (有効成分量)	使用時期	使用方法
	希釈倍数	散布液量				
とうがらし	4000倍	1500 L/ha	4回以内	1 kg ai/ha	3日前まで	散布
かき	4000倍	4000 L/ha	5回以内	2.5 kg ai/ha	14日前まで	散布

③ニュージーランド

50%トリフロキシストロビン顆粒水和剤

作物名	1回あたりの使用量		本剤の使用回数	栽培期間中の総使用量 (有効成分量)	使用時期	使用方法
	製剤量	希釈水量				
キウイー	300 g/ha	500-2000 L/ha	1回	0.15 kg ai/ha	開花時	散布

④ブラジル

(a) 187.5g/L トリフロキシストロビン乳剤

作物名	1回あたりの使用量		本剤の使用回数	栽培期間中の総使用量 (有効成分量)	使用時期	使用方法
	製剤量	希釈水量				
コーヒー豆	0.4-0.6 L/ha	250-500 L/ha	3回以内	0.3375 kg ai/ha	30日前まで	散布

(b) 375g/L トリフロキシストロビンフロアブル

作物名	1回あたりの使用量		本剤の使用回数	栽培期間中の総使用量 (有効成分量)	使用時期	使用方法
	製剤量	希釈水量				
コーヒー豆	0.25 L/ha	250-500 L/ha	3回以内	0.3 kg ai/ha	30日前まで	散布

(c) 125g/L トリフロキシストロビン乳剤

作物名	1回あたりの使用量		本剤の使用回数	栽培期間中の総使用量 (有効成分量)	使用時期	使用方法
	製剤量	希釈水量				
棉	0.5-0.6 L/ha	200-300 L/ha	3回以内	0.225 kg ai/ha	21日前まで	散布

(d) 100g/L トリフロキシストロビンフロアブル

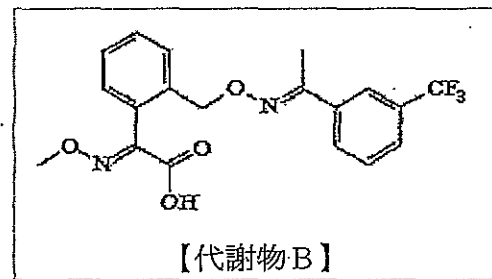
作物名	1回あたりの使用量		本剤の使用回数	栽培期間中の総使用量 (有効成分量)	使用時期	使用方法
	製剤量	希釈水量				
棉	0.6-0.75 L/ha	200 L/ha	3回以内	0.225 kg ai/ha	21日前まで	散布
		30-40 L/ha				空中散布
にんにく	0.5 L/ha	500 L/ha	3回以内	0.225 kg ai/ha	14日前まで	散布
グアバ	0.5-0.6 L/ha	1000 L/ha	4回以内	0.24 kg ai/ha	20日前まで	散布
パッションフルーツ	0.6 L/ha	500 L/ha	4回以内	0.2425 kg ai/ha	7日前まで	散布

6. 作物残留試験結果

(1) 分析の概要

① 分析対象の化合物

- ・ トリフロキシストロビン
- ・ (E,E)-メトキシイミノ- {2-[1-(3-トリフロロメチル-フェニル)-エチリデン]アミノオキシメチル}-フェニル}-酢酸 (以下、代謝物Bという。)



② 分析法の概要

トリフロキシストロビン

水-メタノールで抽出後、ヘキサソージエチルエーテルに転溶する。C₁₈ シリカミニカラム、多孔性けいそう土カラム、シリカゲルミニカラム及び NH₂ シリカミニカラムで精製し、高速液体クロマトグラフで定量する。

代謝物B

水-メタノールで抽出後、ヘキサソージエチルエーテルに転溶する。C₁₈ シリカミニカラム及び MPC ミニカラムで精製し、高速液体クロマトグラフで定量する。

以下、代謝物Bの定量限界及び残留量については、換算係数 1.036 を用いてトリフロキシストロビンに換算した値を示す。

定量限界 トリフロキシストロビン : 0.005~0.05 ppm

代謝物B : 0.005~0.01 ppm

(2) 作物残留試験結果

① きゅうり

きゅうり (果実) を用いた作物残留試験 (2 例) において、25%フロアブルの 2500 倍希釈液を計 3 回散布 (250L, 300L/10a) したところ、散布後 1~7 日の最大残留量^{註)} は以下のとおりであった。

トリフロキシストロビン : 0.268、0.2 ppm

代謝物B : 0.078、0.072 ppm

② りんご

りんご (果実) を用いた作物残留試験 (2 例) において、25%フロアブルの 1500 倍希釈液を計 4 回散布 (600L/10a) したところ、散布後 1~21 日の最大残留量は以下のとおりであった。

トリフロキシストロビン：1.20、0.813 ppm
代謝物B：0.006、0.01 ppm

③ 茶

茶（荒茶）を用いた作物残留試験（2例）において、25%フロアブルの2000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後14,21日の最大残留量は以下のとおりであった。

トリフロキシストロビン：2.25、1.46 ppm
代謝物B：未実施

茶（浸出液）を用いた作物残留試験（2例）において、25%フロアブルの2000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後14,21日の最大残留量は以下のとおりであった。

トリフロキシストロビン：0.08、0.04 ppm
代謝物B：未実施

茶（荒茶）を用いた作物残留試験（1例）において、25%フロアブルの2000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後14,21日の最大残留量は以下のとおりであった。

トリフロキシストロビン：0.78 ppm
代謝物B：未実施

④ おうとう

おうとう（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、25%フロアブルの2000倍希釈液を計3回散布（500L/10a）したところ、散布後14,21日の最大残留量は以下のとおりであった。

トリフロキシストロビン：0.86、0.96 ppm
代謝物B：未実施

⑤ もも

もも（果肉）を用いた作物残留試験（2例）において、25%フロアブルの2000倍希釈液（600,400L/10a）を計3回散布したところ、散布後1~21日の最大残留量は以下のとおりであった。

トリフロキシストロビン：<0.02、0.04ppm
代謝物B：未実施

もも（果皮）を用いた作物残留試験（2例）において、25%フロアブルの2000倍希釈液（600, 400L/10a）を計3回散布したところ、散布後1～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

トリフロキシストロビン：9.10、10.4ppm

代謝物B：未実施

⑥なし

西洋なし（果実）を用いた作物残留試験（1例）において、25%フロアブルの2000倍希釈液（600L/10a）を計4回散布したところ、散布後1～14日の最大残留量は以下のとおりであった。

トリフロキシストロビン：1.94 ppm

代謝物B：未実施

日本なし（果実）を用いた作物残留試験（1例）において、25%フロアブルの2000倍希釈液（400L/10a）を計4回散布したところ、散布後1～14日の最大残留量は以下のとおりであった。

トリフロキシストロビン：1.05 ppm

代謝物B：未実施

⑦てんさい

てんさい（根）を用いた作物残留試験（1例）において、25%フロアブルの1000倍希釈液を計3回散布（100L/10a）したところ、散布後21日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は適用範囲内で行われていない。

トリフロキシストロビン：<0.02 ppm

代謝物B：未実施

てんさい（根）を用いた作物残留試験（1例）において、25%フロアブルの1500倍希釈液を計3回散布（150L/10a）したところ、散布後21日の最大残留量は以下のとおりであった。

トリフロキシストロビン：<0.02 ppm

代謝物B：未実施

てんさい（根）を用いた作物残留試験（3例）において、25%フロアブルの1500倍希釈液を計3回散布（150, 240, 250L/10a）したところ、散布後21日の最大残留量は以下のとおりであった。

トリフロキシストロビン：0.010、<0.005、<0.005 ppm
代謝物B：未実施

てんさい（根）を用いた作物残留試験（2例）において、25%フロアブルの400倍希釈液を計3回散布（25L/10a）したところ、散布後21日の最大残留量は以下のとおりであった。

トリフロキシストロビン：<0.005、<0.005 ppm
代謝物B：未実施

⑧ぶどう

ぶどう（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、25%フロアブルの500倍希釈液を1回散布（500,300L/10a）したところ、散布後132,172日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は適用範囲内で行われていない。

トリフロキシストロビン：<0.01、<0.01 ppm
代謝物B：未実施

これらの試験結果の概要については、別紙1-1、海外で実施された作物残留試験成績の結果の概要については、別紙1-2を参照。

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を実施し、それぞれの試験から得られた残留量。

（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に関する意見具申」）

7. ADIの評価

食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号及び同条第2項の規定に基づき、平成19年6月5日付け厚生労働省発食安第0605003号により食品安全委員会あて意見を求めたトリフロキシストロビンに係る食品健康影響評価について、以下のとおり評価されている。

無毒性量：5 mg/kg 体重/day
（動物種） イヌ
（投与方法） カプセル経口
（試験の種類） 慢性毒性試験
（期間） 1年間
安全係数：100
ADI：0.05 mg/kg 体重/day

8. 諸外国における状況

2004年にJMPRにおける毒性評価が行われ、ADIが設定されており、キャベツ、核果果実等に国際基準が設定されている。

米国、カナダ、欧州連合（EU）、オーストラリア及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてアスパラガス、仁果果実等に、カナダにおいてアーモンド、きゅうり等に、EUにおいてライ麦、ぶどう等に、オーストラリアにおいてバナナ、いちご等に、ニュージーランドにおいてかんきつ類、キウイフルーツ等に基準値が設定されている。

9. 基準値案

(1) 残留の規制対象

トリフロキシストロビン本体とする。ただし、畜産物にあつては、トリフロキシストロビン及び代謝物Bをトリフロキシストロビンに換算したものの和とする。

一部の農産物の作物残留試験において、代謝物Bが測定されているが、代謝物Bの残留量は定量限界未満であるか、親化合物に比べて微量だったことから、農産物中の規制対象物質としてはトリフロキシストロビン本体のみとすることとした。

また、畜産物については、JMPRにおいて、代謝試験及び移行試験の結果から、規制対象物質として代謝物Bを含めるといった評価がなされ、この評価を受けて、トリフロキシストロビン及び代謝物Bをトリフロキシストロビンに換算したものの和として国際基準が設定されているため、我が国における畜産物の基準値として国際基準を参照するに当たり、規制対象物質についての整合性をとり、代謝物Bを含めることとした。

なお、食品安全委員会によって作成された食品健康影響評価においては、農産物中の暴露評価対象物質としてトリフロキシストロビン（親化合物のみ）と設定されている。

(2) 基準値案

別紙2のとおりである。

(3) 暴露評価

各食品について基準値案の上限まで又は作物残留試験成績等のデータから推定される量のトリフロキシストロビンが残留していると仮定した場合、国民栄養調査結果に基づき試算される、1日当たり摂取する農薬の量（理論最大1日摂取量（TMDI））のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

なお、本暴露評価は、各食品分類において、加工・調理による残留農薬の増減が

全くないとの仮定の下におこなった。

	TMD I / AD I (%) ^{注)}
国民平均	25.4
幼小児 (1~6 歳)	55.9
妊婦	19.5
高齢者 (65 歳以上)	25.3

注) TMD I 試算は、基準値案×摂取量の総和として計算している。

なお、高齢者については畜産物、妊婦については家きんの卵類の摂取量データがないため、国民平均の摂取量を参考とした。

- (4) 本剤については、平成 17 年 11 月 29 日付け厚生労働省告示第 499 号により、食品一般の成分規格 7 に食品に残留する量の限度（暫定基準）が定められているが、今般、残留基準の見直しを行うことに伴い、暫定基準は削除される。

トリフロキシストロビン作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 【トリフロキシストロビン】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
きゅうり (果実)	2	25%フロアブル	2500倍散布 250, 300L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.268 圃場B:0.2
りんご (果実)	2	25%フロアブル	1500倍散布 600L/10a	4回	1, 7, 14, 21日	圃場A:1.20 圃場B:0.813
茶 (荒茶)	2	25%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	14, 21日	圃場A:2.25 圃場B:1.46
茶 (浸出液)	2	25%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	14, 21日	圃場A:0.08 圃場B:0.04
茶 (荒茶)	1	25%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	14, 21日	圃場A:0.78
おうとう (果実)	2	25%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	3回	14, 21日	圃場A:0.86 (3回、21日) 圃場B:0.96
もも (果肉)	2	25%フロアブル	2000倍散布 600, 400L/10a	3回	1, 7, 14, 21日	圃場A:<0.02 圃場B:0.04 (3回、7日)
もも (果皮)	2	25%フロアブル	2000倍散布 600, 400L/10a	3回	1, 7, 14, 21日	圃場A:9.10 圃場B:10.4
西洋なし (果実)	1	25%フロアブル	2000倍散布 600L/10a	4回	1, 3, 7, 14日	圃場A:1.94
日本なし (果実)	1	25%フロアブル	2000倍散布 400L/10a	4回	1, 3, 7, 14日	圃場A:1.05
てんさい (根)	1	25%フロアブル	1000倍散布 100L/10a	3回	21日	圃場A:<0.02 (#)
てんさい (根)	1	25%フロアブル	1500倍散布 150L/10a	3回	21日	圃場A:<0.02
てんさい (根)	3	25%フロアブル	1500倍散布 150, 240, 250L/10a	3回	21日	圃場A:0.010 圃場B:<0.005 圃場C:<0.005
てんさい (根)	2	25%フロアブル	400倍散布 25L/10a	3回	21日	圃場A:<0.005 圃場B:<0.005
ぶどう (果実)	2	25%フロアブル	500倍散布 500, 300L/10a	1回	132日 172日	圃場A:<0.01 (#) 圃場B:<0.01 (#)

最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付している。
 (#)これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。

トリフロキシストロビン海外作物残留試験一覧表

(別紙1-2)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 【トリフロキシストロビン】		
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数 (日)	圃場A	圃場B	
ライ麦 (玄麦)	4	100 g/Lフロアブル	各回1 L/ha(0.1 kg ai/ha) 散布	2	56	圃場A:	<0.01	
		125 g/L乳剤	各回2 L/ha(0.25 kg ai/ha) 散布		34, 41	圃場B:	0.05	
		187.5 g/L乳剤	各回1 L/ha(0.19 kg ai/ha) 散布		35, 47	圃場C:	<0.02	
トリディケール (玄麦)	1	100 g/Lフロアブル	各回1 L/ha(0.1 kg ai/ha) 散布		34, 41	圃場D:	<0.02(＃)	
さやいんげん (さや付き子実)	12	50%顆粒水和剤	各回0.25 kg/ha (0.125 kg ai/ha) 散布	3	0, 1, 3, 6	圃場A:	0.09(3日)(＃)	
					0, 1, 3, 5	圃場B:	0.10(3日)(＃)	
					0, 1, 3, 5	圃場C:	0.17(3日)(＃)	
					0, 1, 3, 6	圃場D:	0.13(3日)(＃)	
					0, 1, 3	圃場E:	0.35(3日)(＃)	
					0, 1, 3	圃場F:	0.11(3日)(＃)	
		各回0.4 kg/ha (0.2 kg ai/ha) 散布	2	0, 1, 3	圃場G:	0.18(3日)(＃)		
				0, 1, 3	圃場H:	0.10(3日)(＃)		
				0, 7, 14, 21	圃場I:	0.59(0日)(＃)		
				0, 7, 13, 21	圃場J:	0.14(0日)(＃)		
				0, 14	圃場K:	0.16(0日)(＃)		
				0, 13	圃場L:	0.47(0日)(＃)		
ぶどう(果実)	2	125 g/L乳剤	各回製剤1000倍希釈液(500-1500 L/ha)、(0.063-0.19 kg ai/ha) 散布	7	0, 3, 7, 14, 21, 28, 42	圃場A:	0.12(21日)(＃)	
			各回製剤500倍希釈液(500-1500 L/ha)、(0.13-0.38 kg ai/ha) 散布			圃場B:	0.66(21日)(＃)	
ぶどう(果実)	18	25%顆粒水和剤	各回750 g/ha(設定量) (0.15-0.21 kg ai/ha) 散布	8	0, 14, 28, 35, 42	圃場C:	0.29(28日)(＃)	
		50%顆粒水和剤	各回375 g/ha(設定量) (0.17-0.19 kg ai/ha) 散布			圃場D:	0.52(14日)(＃)	
		25%顆粒水和剤	1-7回目: 750 g/ha(設定量) 8回目: 800 g/ha(設定量) (0.20-0.23 kg ai/ha) 散布		0, 21, 35, 41, 48	圃場E:	0.52(21日)(＃)	
		25.6%顆粒水和剤	各回750 g/ha(設定量) (0.19-0.20 kg ai/ha) 散布		0, 14, 28, 35, 42	圃場F:	1.2(28日)(＃)	
		50%顆粒水和剤	各回375 g/ha(設定量) (0.17-0.19 kg ai/ha) 散布			圃場G:	1.0(14日)(＃)	
		25%顆粒水和剤	1-7回目: 750 g/ha(設定量) 8回目: 800 g/ha(設定量) (0.19-0.20 kg ai/ha) 散布		0, 21, 35, 41, 48	圃場H:	1.8(21日)(＃)	
		50%顆粒水和剤	各回375 g/ha (0.19 kg ai/ha)・散布		0, 7, 14, 28, 35	圃場I:	1.66(28日)(＃)	
		25%顆粒水和剤	各回750 g/ha (0.188 kg ai/ha)・散布		35	圃場J:	2.0(＃)	
		50%顆粒水和剤	各回375 g/ha (0.19 kg ai/ha)・散布		0, 7, 14, 31, 35	圃場K:	0.22(31日)(＃)	
		25%顆粒水和剤	各回750 g/ha (0.188 kg ai/ha)・散布		35	圃場L:	0.18(＃)	
		50%顆粒水和剤	各回製剤1000倍希釈液(500-1500 L/ha)、(0.063-0.19 kg ai/ha)・散布		7	0, 7, 14, 28, 41	圃場M:	0.81(28日)(＃)
		25%顆粒水和剤	各回750 g/ha (0.188 kg ai/ha)・散布		6	0, 3, 7, 14, 21, 28, 42	圃場N:	0.05(21日)(＃)
		25%顆粒水和剤	各回750 g/ha (0.188 kg ai/ha)・散布		8	35	圃場O:	1.8(＃)
						40	圃場P:	2.24(＃)
			41	圃場Q:	1.68(＃)			
			42, 49	圃場R:	1.4(＃)			
			41	圃場S:	0.25(28日)(＃)			
			42, 49	圃場T:	0.64(28日)(＃)			
はくさい (葉球)	1	25%フロアブル	1500倍希釈液 150mL/株 土壌灌注	1	21	圃場A:	0.17(＃)	
はくさい (葉球)	1	25%フロアブル	1500倍希釈液 300mL/株 土壌灌注	1	21	圃場A:	0.23(＃)	
かき(果実)	1	25%フロアブル	2000倍希釈液・散布	3	22	圃場A:	0.11	
かき(果実)	1	25%フロアブル	2000倍希釈液・散布	4	14	圃場A:	0.22	
とうがらし (果実)	1	25%フロアブル	2000倍希釈液 2000L/ha・散布	3	1, 3, 5, 7	圃場A:	1.29(3日)	
とうがらし (葉)	1	25%フロアブル	2000倍希釈液 2000L/ha・散布	3	1, 3, 5, 7	圃場A:	63.37(3日)	

農作物	試験圃 場数	試験条件			最大残留量 (ppm) 【トリプロキシストロピン】						
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数 (日)						
いちご	5	50%顆粒水和剤	各回 400 g/ha (200 g ai/ha) ・散布(少量)	3	0, 1, 3	圃場A: 0.665(1日)					
					0, 1, 3, 5, 7	圃場B: 0.278(1日)					
					0, 1, 3	圃場C: 0.125(1日)					
					0, 1, 3, 5, 7	圃場D: 0.238(1日)					
			0, 1, 3		圃場E: 0.135(1日)						
			0, 1, 3		圃場A: 0.956(3日)						
			0, 1, 3, 5, 7		圃場B: 0.318(3日)						
			0, 1, 3		圃場C: 0.279(3日)						
			0, 1, 3, 5, 7		圃場D: 0.318(1日)						
			0, 1, 3		圃場E: 0.214(1日)						
			0, 1, 3		圃場A: 0.920(1日)						
			0, 1, 3, 5, 7		圃場B: 0.247(3日)						
0, 1, 3	圃場C: 0.479(1日)										
0, 1, 3, 5, 7	圃場D: 0.480(1日)										
0, 1, 3	圃場E: 0.111(1日)										
0, 1, 3	圃場A: 1.538(1日)										
0, 1, 3, 5, 7	圃場B: 0.617(3日)										
0, 1, 3	圃場C: 0.644(1日)										
0, 1, 3, 5, 7	圃場D: 0.805(1日)										
0, 1, 3	圃場E: 0.202(1日)										
バナナ (果実: 無袋)	2	50%顆粒水和剤	各回0.18 kg/ha (0.09 kg ai/ha)・散布	4	0, 1, 3	圃場A: 0.071(3日)					
	2	75 g/L乳剤	各回1.2 L/ha (0.09 kg ai/ha)・散布	4	0, 1, 3	圃場B: 0.018(3日)					
	2	500 g/Lフロアブル	各回0.18 L/ha (0.09 kg ai/ha)・散布	4	0, 1, 3	圃場A: 0.126(3日)					
バナナ (果実: 有袋)	2	50%顆粒水和剤	各回0.18 kg/ha (0.09 kg ai/ha)・散布	4	0, 1, 3	圃場B: 0.029(3日)					
	2	75 g/L乳剤	各回1.2 L/ha (0.09 kg ai/ha)・散布	4	0, 1, 3	圃場A: <0.010					
	2	500 g/Lフロアブル	各回0.18 L/ha (0.09 kg ai/ha)・散布	4	0, 1, 3	圃場B: <0.010					
バナナ (果実: 無袋)	3	75 g/L乳剤	各回1.2 L/ha (0.09 kg ai/ha)・散布	4	0, 1, 3	圃場A: <0.010					
バナナ (果実: 有袋)	3	75 g/L乳剤	各回1.2 L/ha (0.09 kg ai/ha)・散布	4	0, 1, 3	圃場B: <0.010					
キウイ	7	50%顆粒水和剤	500 g/ha (0.25 kg ai/ha)・散布	1	39, 55, 64, 72, 78, 85, 95, 149	圃場A: <0.02(149日)(#)					
					39, 58, 65, 72, 80, 142	圃場B: <0.02(149日)(#)					
					32, 51, 58, 65, 73, 135	圃場C: <0.02(142日)(#)					
					33, 44, 51, 58, 66, 128	圃場D: <0.02(135日)(#)					
					37, 58, 65, 80, 108, 142	圃場E: 0.06(128日)(#)					
					57, 64, 70, 78.	圃場F: <0.02(142日)(#)					
			260 g/ha (0.13 kg ai/ha)・散布		圃場G: <0.02(163日)						
			にんにく (鱗茎)		3	100 g/Lフロアブル	1.5L/ha (0.15 kg ai/ha)・散布	5	14	圃場A: <0.05(#)	
					グアバ (果実)	3	100 g/Lフロアブル	0.75 L/ha (0.075 kg ai/ha)・散布	5	20	圃場B: <0.05(#)
										0, 5, 10, 20, 30	圃場C: <0.05(#)
			パッションフルーツ (果実)		3	125 g/L乳剤	1.6 L/ha (0.2 kg ai/ha)・散布	3	21	圃場A: <0.05(#)	
					3	100 g/Lフロアブル	0.6 L/ha (0.06 kg ai/ha)・散布	4	7	圃場B: <0.05	
0, 3, 5, 7, 10	圃場C: <0.05										
7	圃場A: <0.05(#)										
コーヒー豆 (乾燥子実)	2	187.5 g/L乳剤	1.2 L/ha (0.225 kg ai/ha)・散布	3	30	圃場B: <0.05(#)					
			0.6 L/ha (0.225 kg ai/ha)・散布			圃場A: <0.05					
			1.2 L/ha (0.225 kg ai/ha)・散布			圃場B: <0.05					

農作物	試験圃 場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 【トリフロキシストロピン】		
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数 (日)			
綿実 (種子)	6	125 g/L乳剤	1.6 L/ha 散布	3	21	圃場A:	<0.05	
						圃場B:	<0.05	
						圃場C:	<0.05	
		100 g/Lフロアブル	0.75 L/ha 散布	5	21	圃場D:	<0.05	
						圃場E:	<0.05	
						圃場F:	<0.05	
とうもろこし (穀粒)	27	125 g/L乳剤	124 g ai/ha (=50g AI/Acre)	4	29	圃場A:	<0.020 (#)	
						圃場B:	<0.020 (#)	
						圃場C:	<0.020 (#)	
						圃場D:	<0.020 (#)	
						圃場E:	<0.020 (#)	
						圃場F:	<0.020 (#)	
						圃場G:	<0.020 (#)	
						圃場H:	<0.020 (#)	
						9, 16, 23, 30, 36	圃場J:	<0.020 (#)
						29	圃場K:	<0.020 (#)
						30	圃場L:	<0.020 (#)
						30	圃場M:	<0.020 (#)
		30	圃場N:	<0.020 (#)				
		52 g ai/ha (誤って1/2量で処理したもの)	4	29	圃場O:	<0.020 (#)		
					圃場P:	<0.020 (#)		
					圃場Q:	<0.020 (#)		
					圃場R:	<0.020 (#)		
					圃場S:	<0.020 (#)		
					圃場T:	<0.020 (#)		
					圃場U:	<0.020 (#)		
					圃場V:	<0.020 (#)		
					圃場W:	<0.020 (#)		
					圃場X:	<0.020 (#)		
					圃場Y:	<0.020 (#)		
圃場Z:	<0.020 (#)							
618 g ai/ha (=250g AI/Acre)	4	29	圃場AA:	<0.020 (#)				
			圃場AB:	<0.020 (#)				
			圃場AC:	<0.020 (#)				
			圃場AD:	<0.020 (#)				
			圃場AE:	<0.020 (#)				
			圃場AF:	<0.020 (#)				
			圃場AG:	<0.020 (#)				
			圃場AH:	<0.020 (#)				
			圃場AI:	<0.020 (#)				
			圃場AJ:	<0.020 (#)				
			圃場AK:	<0.020 (#)				
			圃場AL:	<0.020 (#)				
えん麦(玄麦)	12	125 g/L乳剤	各回約0.5 L/ha (0.063 kg ai/ha)・散布	2	40	圃場A:	<0.02	
						圃場B:	<0.02	
						圃場C:	<0.02	
						圃場D:	<0.02	
						圃場E:	<0.02	
						圃場F:	<0.02	
						圃場G:	<0.02	
						圃場H:	<0.02	
						圃場I:	<0.02	
						圃場J:	<0.02	
						圃場K:	<0.02	
						圃場L:	<0.02	
大豆(種子)	20	125 g/L乳剤	各回製剤約0.75 L/ha (0.09 kg ai/ha)・散布	3	20	圃場A:	<0.01	
						圃場B:	<0.01	
						圃場C:	<0.01	
						圃場D:	<0.01	
						圃場E:	0.01	
						圃場F:	0.06	
						圃場G:	0.01	
						圃場H:	<0.01	
						圃場I:	0.03	
						圃場J:	<0.01	
						圃場K:	0.01	
						圃場L:	<0.01	
						圃場M:	<0.01	
						圃場N:	<0.01	
						圃場O:	<0.01	
						圃場P:	<0.01	
						圃場Q:	<0.01	
						圃場R:	<0.01	
						18, 21, 26, 27, 32	圃場S:	0.03 (21日)
						18, 21, 24, 27, 33	圃場T:	0.02 (27, 33日)

農作物	試験圃場数	試験条件			最大残留量 (ppm) 【トリプロキシストロビン】	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数 (日)	
らっかせい (Nutmeat)	5	50%顆粒水和剤	各回製剤約0.14 kg/ha (0.07 kg ai/ha)・散布	8	14	圃場A: <0.02 (#)
					14	圃場B: <0.02 (#)
	125g/L乳剤	各回製剤約0.6 kg/ha (0.07 kg ai/ha)・散布	8	14	圃場C: <0.02 (#)	
				13	圃場D: <0.02 (#)	
	12	50%顆粒水和剤	各回製剤約0.14 kg/ha (0.07 kg ai/ha)・散布	8	14	圃場E: <0.02 (#)
					14	圃場A: <0.02 (#)
					14	圃場B: <0.02 (#)
					14	圃場C: <0.02 (#)
					14	圃場D: <0.02 (#)
					14	圃場E: <0.02 (#)
					14	圃場F: <0.02 (#)
					14	圃場G: <0.02 (#)
14					圃場H: <0.02 (#)	
14					圃場I: <0.02 (#)	
12	50%顆粒水和剤	各回製剤約0.28 kg/ha (0.141 kg ai/ha)・散布	8	0, 3, 7, 14, 21	圃場F: <0.02 (#)	
				14	圃場G: <0.02 (#)	
12	50%顆粒水和剤	各回製剤約0.84 kg/ha (0.423 kg ai/ha)・散布	8	14	圃場H: <0.02 (#)	
				14	圃場M: <0.02 (#)	
ばれいしょ (塊茎)	15	50%顆粒水和剤	各回製剤約0.28 kg/ha (0.141 kg ai/ha)・散布	6	7	圃場A: <0.02
					7	圃場B: <0.02
					7	圃場C: <0.02
					7	圃場D: <0.02
					0, 7	圃場E: <0.02
					7	圃場F: <0.02
					7	圃場G: <0.02
					7	圃場H: <0.02
					7	圃場I: <0.02
					7	圃場J: <0.02
ラディッシュ (根茎)	6	50%顆粒水和剤	各回製剤約0.56 kg/ha (0.279 kg ai/ha)・散布	4	0, 1, 3, 7, 14	圃場E: <0.02 (#)
					4	圃場P: <0.02 (#)
					4	圃場E: <0.02 (#)
ラディッシュ (葉部)	6	50%顆粒水和剤	各回製剤約1.66 kg/ha (0.834 kg ai/ha)・散布	4	0, 7	圃場P: <0.02 (#)
					4	圃場E: <0.02 (#)
					4	圃場P: 0.056 (7日) (#)
ラディッシュ (葉部)	6	50%顆粒水和剤	各回製剤約2.8 kg/ha (1.395 kg ai/ha)・散布	2	7	圃場A: <0.02
					8	圃場B: 0.035
					7	圃場C: 0.058
					8	圃場D: <0.02
					8	圃場E: 0.041
					8	圃場F: <0.02
ラディッシュ (葉部)	6	50%顆粒水和剤	各回製剤約0.28 kg/ha (0.141 kg ai/ha)・散布	2	7	圃場A: 0.05
					8	圃場B: 0.1
					7	圃場C: 0.12
					8	圃場D: <0.02
					8	圃場E: 0.08
					8	圃場P: 0.03
ラディッシュ (葉部)	6	50%顆粒水和剤	各回製剤約0.59 kg/ha (0.29 kg ai/ha)・散布	2	7	圃場A: 2.6
					8	圃場B: 16
					7	圃場C: 7
					8	圃場D: 0.08
					8	圃場E: 0.34
					8	圃場F: 0.25
ラディッシュ (葉部)	6	50%顆粒水和剤	各回製剤約0.59 kg/ha (0.29 kg ai/ha)・散布	2	7	圃場A: 7.8
					8	圃場B: 9.8
					7	圃場C: 17
					8	圃場D: 0.13
					8	圃場E: 0.86
					8	圃場F: 0.48